

進研共通テスト模試(6/3日(土)実施)～有効に活用しよう!!

6月進研共通テスト模試から入試まで模試を受験する機会が多くなる。模試をうまく活用することで、受験勉強をより効率的に進めよう。

ただし、3年生からは既卒生が加わってくるので、例年現役生は多少厳しい結果となる。ただし、既卒生の割合は少ないので気にする必要はない。

参 考 (昨年6月共通テスト模試：英語リーディング)

英語リーディング	平均点	平均偏差値	受験人数
現役生	41.0点	49.7	400,013人(96.8%)
既卒生	56.7点	58.6	13,075人(3.2%)
全体	41.5点	50.0	413,088人(100%)

<共通テスト模試受験時に気をつけたいこと>

<受験前> ① 目標点、志望校登録 ② 出題範囲(特に専門理科、地歴)の確認

<受験中> ① 試験時間を意識して受験に臨もう ② 自己採点をするために、解答を控える

<受験後>

① 自己採点 ⇒ 自己採点の登録 ⇒ 個票に反映される

② 間違えた問題と、正解したが理解があいまいだった問題を復習しよう

「理解できているか」を基準として、理解不足だった問題は必ず復習しましょう。

③ 自分の苦手分野を分析し、弱点を克服しよう

ただ解き直すだけではなく、「自分が間違いやすい分野」、「ミスしやすい箇所」などをチェックし、自分の弱点分析に役立てましょう。

53期生進研模試(英数国)成績推移

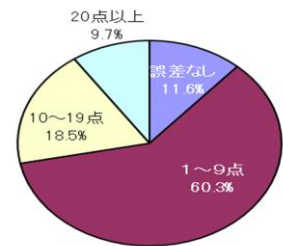
正確な自己採点のために～共通テスト模試での解答の掟～

約4人に1人は10点以上の誤差！自己採点はとにかく正確に！慎重に！

右下のグラフは11月のベネッセ・駿台共通テスト模試での自己採点の誤差を表したもの。なんと約4人に1人は10点以上の自己採点ミスをしていることがわかる。もし共通テストの自己採点でこれほど大きな誤差があれば、出願ミスにつながる可能性もある。「正確な自己採点」のために、以下のポイントをしっかりと守って、とにかく慎重に解答、自己採点しよう。

- 試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること。
- 受験番号や名前などの記入に誤りがどうか確認すること。
- マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」などがどうか確認すること。
- 受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること。
- マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること。
- 訂正の際は完全に消しゴムで消すこと。
- 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと。

自己採点と実際の得点との差



自己採点チェック（900点満点）より

<今回の注意点>

1：受験中の注意点

問題冊子に解答を控える。自己採点は受験中に始まっている！

時間との戦いになる共通テスト模試(共通テスト本番も)。しかし正確にマークするためには、焦りは禁物。解き始める前に見直し時間も含めた時間配分をすることが必要だ。そのうえでマークミスをしないよう解答すること。まず、問題冊子に解答をチェックし、大問ごとにまとめてマークすることで、記入欄のズレなどのマークミスを防ぐことができる。これは、正確な自己採点をするためにも重要。記憶だけに頼った自己採点にならないよう、きちんと解答を控えること。見直しによって発見した間違いを訂正する際には、マークシートだけでなく問題冊子の控えも修正することを忘れないようにしよう。

2：自己採点の仕方

「正解・配点一覧」を使って自己採点。計算間違いに注意！

模試終了後は、配付される「正解・配点一覧」を使って自己採点する。受験中に問題冊子に控えておいた解答番号と見比べながら、正誤をチェックしていくこと。あとは正誤に従って、配点に注意しながら得点を合計していく。計算ミスを防ぐため、小計・総得点の計算は時間をかけて慎重に何度も行うこと。

以下は、共通テスト本番（1/13/14）の自己採点リサーチ提出(1/15)時の注意点

共通テストリサーチ提出時の注意点

集計カードに自己採点結果を転記。最後まで正確

自己採点結果は、転記ミスに気をつけて集計カードに書き写す。出願時の資料となる合格可能性判定はこの提出用の集計カードがもとなる。転記の際にミスをしてしまうと、せっかく正しい自己採点結果が出ていても、実際とは異なる判定が出てしまうことがあるので、注意深く転記すること。また、名前や志望校などについてもしっかりと確認すること。